様式３（2015.06改）

作成日　平成　30　年　3　月　6　日

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2397600061
事業所名	グループホーム「ポプラ」

【重点項目への取組状況】

重点項目①	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：２）	評価
	開所以来徐々に地域に浸透しつつあり、今年度は小学校の運動会や音楽発表会を参観させてもらったり、地域の秋祭りや「おこわ祭」に参加したり、子供獅子が来所してくれたりしている。行事の情報は回覧板や近隣住民から得られている。事業所の夏祭に近隣住民も訪問してくれ、双方向の交流がなされている。ボランティアの訪問がとても多く、参加型の手芸は定期的にあり、利用者はどれも楽しみにしている。	○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：３）	評価
	運営推進会議は年に6回、あま市の職員、地域包括職員、民生委員、地区長なども参加して開かれ、事業所の情報を伝えるとともに地域の情報を得る場ともしている。地域の防災訓練の呼びかけもあった。 これからの会議には勉強会や地域の人も参加してもらって避難訓練などを組み合わせていくことも検討している。	○
重点項目③	市町村との連携（外部評価項目：４）	評価
	市の主催する外部研修や福祉作品展に出品している。 運営推進会議に市職員が参加、また生活保護者の受け入れをしており、高齢福祉課や保護課とのつながりがある。 グループホーム連絡会にも参加し、認知症カフェを訪れたりし他の事業者との関わりもある。	○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：６）	評価
	毎月事業所便りを発行し、家族へ送付している。家族交流会も行った。 家族が来所した時には必ず職員や管理者が話すようにし、意見要望をきいている。 日々の支援の中で利用者がいきたい場所、やりたいこと、食べたいものなどを伝えてきたら、職員同士で共有し、できることはすぐに取り組んでいる。	○
重点項目⑤	その他軽減措置要件	評価
	○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	○
	○運営推進会議が、過去１年間に６回以上開催されている。	○
	○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	○
総　合　評　価		○

１．外部評価軽減要件

①　別紙４の「１　自己評価及び外部評価」及び「２　目標達成計画」を市町村に提出していること。

②　運営推進会議が、過去１年間に６回以上開催されていること。

③　運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。

④　別紙４の「１　自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の２、３、４、６の実践状況（外部評価）が適切であること。

２．外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目	確　認　事　項
２．事業所と地域のつきあい	（例示） ①　自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、 消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ②　地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
３．運営推進会議を活かした取り組み	（例示） ①　運営基準第８５条の規定どおりに運用されている。 ②　運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取り組みを行っている。
４．市町村との連携	（例示） ①　運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ②　市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
６．運営に関する利用者、家族等意見の反映	（例示） ①　家族会を定期的（年２回以上）に開催している。 ②　利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③　家族向けのホーム便り等が定期的（年２回以上）に発行されている。

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
総合評価	―	―	―	―	―	―	―	―	○	○	